

2022年7月7日
株式会社スマートバリュー

2023年6月期スタートにあたり、振り返りと今後の戦略 着実な SaaS 事業の MRR 伸長をベースにスマートシティの社会実装に関する 投資および賃金増などを吸収して業績の改善を推進

株式会社スマートバリュー（本社：大阪府大阪市、取締役兼代表執行役社長：渋谷 順、以下：当社）では、2022年6月期（第75期）を終え、2023年6月期（第76期）がスタートを切りました。

年度初めにあたり、定性的な視点中心に第75期の振り返りと今後に向けた戦略などを整理してご報告申し上げます。

1. 2022年6月期（第75期）振り返り

・業績の改善

売上高と経常利益の推移

（単位：百万円）

	2021/6期（第74期） ※連結会計年度	2022/6期（第75期） ※第3四半期 連結累計期間
売上高	3,446	2,900
経常利益	▲580	50

・MRRの着実な積み上げ

第73期・第74期・第75期3か年共に3月末で比較したMRR額推移

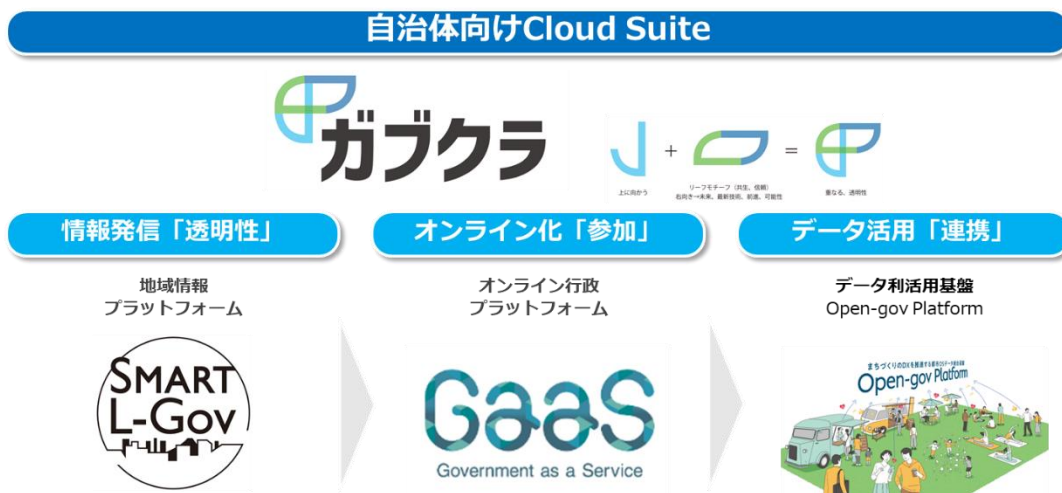
（単位：千円）

	2020/6期（第73期） 3月末時点	2021/6期（第74期） 3月末時点	2022/6期（第75期） 3月末時点
MRR	85,628 (前年同月比 121%)	94,792 (前年同月比 110%)	114,057 (前年同月比 120%)

※MRR：月次経常収益。クラウドサービスにおける月額での固定収入額

・自治体 DX の本格化を控え、自治体向けクラウドサービスを強化

オープンガバメントにおける“透明性”を推進する地域情報プラットフォーム「SMART L-Gov」、住民と自治体をオンラインでつなぎ“参加・連携”を促すオンライン行政プラットフォーム「GaaS」、スマートシティ・スマートエリア向けデータ利活用基盤「Open-gov Platform」の3つのプラットフォームによって構成される「ガブクラ」で、スマートバリューは持続的かつ民主的なまちづくりを推進します。



※2021年11月に自治体向けCMSサービスの提供において公正取引委員会の調査を受けておりましたが、2022年6月には当社が提出した確約計画について公正取引委員会の認定を受けて、調査は終了しております。本調査における業績への影響はございません。

・EVカーシェアプラットフォームの提供など大きな時代の転換点に立つモビリティ業界に新たなサービスを創造

スマートバリューは自社が開発、運営しているテスラ API とも連携可能なモビリティのシェアリングプラットフォーム「Kuruma Base (クルマベース) ※」の提供を推進しており、3月には北海道電力株式会社におけるEVカーシェアリングの実証実験として提供開始、4月には株式会社EXKeyでのハイエンドEVカーシェアリングとして採用頂きました。EVが、単に再生可能エネルギー電気を蓄電するなどの電源としてだけでなく、広く地域住民や観光客などにも活用を促していくものと捉え、地域における移動に関する課題の解決や、まちづくりの要素の一つとして積極的に推進してまいります。

※Kuruma Base は、カーシェアリング事業者など、クルマのサービス化の事業を行っている事業者向けのプラットフォームサービスです。アプリから会員登録、予約、利用、決済まで、EVカーシェアリングを利用するまでに必要な機能をすべて取り揃えています。

2. 今後の戦略

・ SaaS 事業の深耕

現在当社事業の根幹をなす SaaS 事業の更なる深耕を進めます。

【SaaS 事業一覧】

セグメント	サービス名	サービス概要	
デジタルガバメント	自治体向けCloud Suite ガブクラ 地域情報プラットフォーム スマート エルガブ	SMART L-Gov CMS SMART L-Gov APPS SMART L-Gov OPEN DATA SMART ALERT	ホームページ管理システム、LINEなど様々な媒体と連携 スマートフォン向けアプリサービス オープンデータ管理システム 防災など緊急時の広報支援サービス
	自治体向けCloud Suite ガブクラ オンライン行政プラットフォーム ガース	手続き検索Port オンライン申請Form Arrange	デジタル行政ポータル オンライン申請サービス 調査・分析サービス
	自治体向けCloud Suite ガブクラ データマネジメント基盤 Open-gov Platform		スマートシティにおけるデータ連携基盤
	クラウドプラットフォーム	VMホスティング おまかせIaaS	プライベートクラウド基盤 パブリッククラウド基盤
モビリティ・サービス	企業・公共向け車両管理サービス（モビリティIoTサービス） シームス	CiEMS CiEMS Report	テレマティクスサービス 簡易車両管理スマホアプリ
	Kuruma Base クルマベース		モビリティIoTプラットフォーム
			カーシェア・無人レンタカー事業向け モビリティシェアリングプラットフォーム

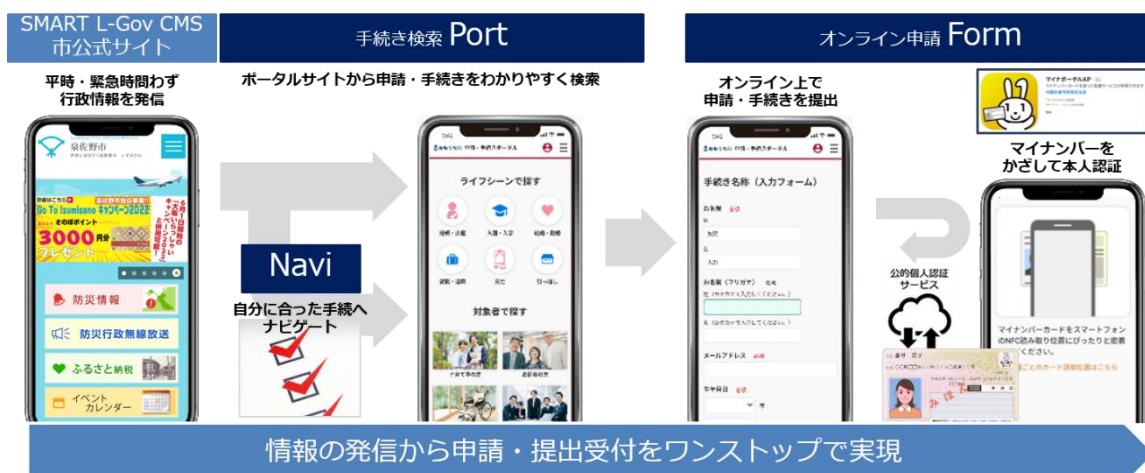
・ ガブクラの推進

本年リリースしました自治体向け CLOUD SUITE 「ガブクラ」の積極展開を進めます。

SMART L-Gov CMS 利用中の大阪府泉佐野市への GaaS 導入が決定

大阪府泉佐野市では既に“SMART L-Gov”上でホームページを管理しており、利用者目線に沿ったサービスで誰もが欲しい情報を簡単に探せるだけでなく、職員様の運用負荷削減にも繋げています。また“SMART L-Gov”とデータ連携する“GaaS”（政府のオンラインサービス共通基盤も連携）の導入も決定しており、役所に訪れずとも手続きができることに加え、行政課題である申請・手続き情報などの重複管理が大幅に改善されることが期待できます。2022年中のリリースを目指しています。

当社では引き続きマイナンバーカードやマイナポータルの利活用機会を増やすと同時に、政府が掲げる自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画の実現を推進します。



・スマートシティの社会実装をさらに推進

神戸市プロジェクトは2024年度のローンチに向けて準備を急ピッチで進めています。また同じタイミングで街びらきが予定されているうめきた2期においても、事前実証実験の参画踏まえ、準備を進めております。

2024年度以降大きな収益を生み出すべく現在は投資フェーズとなりますが、スマートシティの民間による社会実装および持続的なサービス提供を実現させたいと考えています。今後順次計画を発表してまいります。web3.0時代に具体的なまちづくりに関する地域課題の解決を、デジタルとコミュニティのチカラで推進してまいります。



・賃金増など働く環境の整備

今年度平均4.3%の賃金増を計画し、働く環境の整備を推進してまいります。

全体的にはまだまだ回復途上ではありますが、2028年の創立100周年には、ミッションである歴史に残る社会システムの創造へ近づけるよう、積極的にこの国の仕組みをデジタルとコミュニティのチカラで地方から変えていきたいと考えています。

もうしばらく投資フェーズも続きますが、足元で着実に伸びるSaaS事業のMRRにより、賃金増や投資を吸収して引き続き業績の改善に注力してまいります。

■ 会社概要

会社名	株式会社スマートバリュー
代表者名	取締役兼代表執行役社長 渋谷 順
所在地	大阪市中央区道修町三丁目 6 番 1 号 京阪神御堂筋ビル 7 階
設立年月	1947 年 6 月
資本金	959,454 千円 (2021 年 6 月末現在)
上場市場	東証スタンダード市場 (証券番号 : 9417)
事業内容	クラウドソリューション事業
ホームページ	https://www.smartvalue.ad.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スマートバリュー 社長室 Division 大門 朋恵
TEL : 06-6227-5577 MAIL : info@g.smartvalue.ad.jp
お問い合わせフォーム : <https://www.smartvalue.ad.jp/contact/>